

学校概要

▶ 昭和49年創立

- （今年度49期生入学）

▶ 学校規模

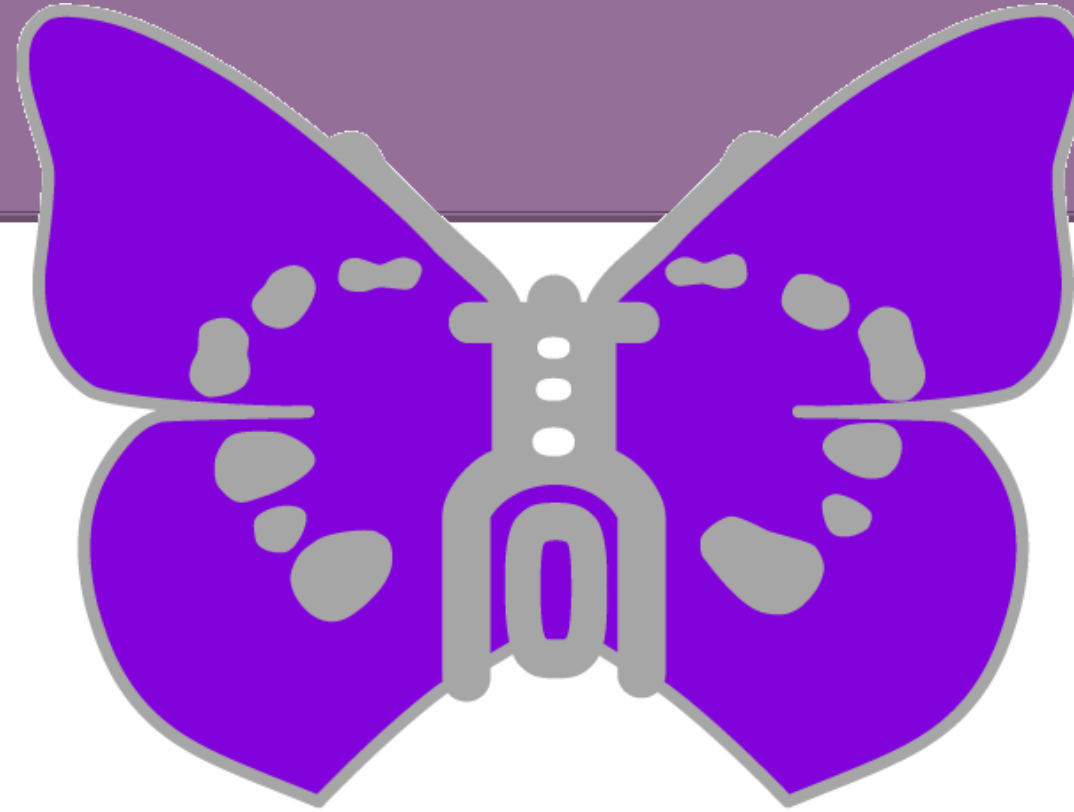
- 6クラス×3学年（生徒 710名）

▶ 授業

- 月～金 6時間・土曜授業あり（年間20回）
- 土曜講習・サポートティーチャー

▶ 自習室 早朝6:40～夜18:00

▶ 特進クラス 2学年から1クラス



校章
おほむらさき（国蝶）

東京都立調布北高等学校 グランドデザイン

教育目標

自主自律...生徒の情意に火を灯す
文武両道...羽ばたく舞台を創出
文理両眼...将来を切り拓く学力を伸長
グッドトライ...挑戦する気概を醸成

生徒・学校の現状

生徒は進学志向が高く部活動・学校行事にも主体的に取り組み、他者と協働して成し遂げることに喜びを感じる生徒が多い。学校は近隣大学と協定を結び生徒の学ぶ意欲に応えるとともに学校評価・授業アンケートを実施し日々教育水準の向上に努めている。

予想される社会

生産年齢人口の現状、AI・IoTなどの技術革新により、新たな時代の到来とともに社会や生活が大きく変化していく、既存の知識をベースに情報を再構築するなどして新たな価値につなげていく人材が求められる。

スクールミッション

「自主自律、文武両道、文理両眼、グッドトライ」を目標とし、教科横断的な探究活動、大学や地域等と連携した理数教育、キャリア教育、国際理解教育といった教育活動を通じて、自己実現に向け主体的に努力し、他者と協働しながら飽くなき挑戦を続け、社会に新しい価値を提言できる生徒を育成する。



目指すべき生徒の将来像

基礎的で普遍的な知識を身につけ、自己実現に向け主体的に努力するとともに、自分の意見を持ち、他者に伝える能力を高め、異なる価値を認め、グローバル化した社会に新しい価値を提言できる生徒



グラデュエーションポリシー（育成を目指す資質・能力）

- ① Critical Thinking（物事の本質を粘り強く問い続けながら主体的に考えること）
- ② Creative Thinking（興味・関心を追求し、自由な発想、柔軟な思考をすること）
- ③ Collaboration（自己調整力を育成し、多様性を受け入れ、他者と発展的に協働）

カリキュラムポリシー

生徒の個性や資質・能力に応じながら、文理両眼・教科を超えた幅広い学びと進路実現ができる教育課程

- ①探究活動の充実 ②理数キャリア教育の充実 ③国際理解教育の推進 ④大学や地域との連携

アドミッションポリシー

- ① 新たな時代をたくましく生きるために、自ら考え行動できる生徒
 - ② 限られた時間の中で最大の効果を発揮し、文武両道を実践できる生徒
 - ③ 知的探究心をもって科学技術等の分野で活躍できる生徒
 - ④ 積極的に挑戦する意欲をもって行動できる生徒
- 

東京都からの指定校

【令和3年度 東京都教育委員会指定】

- ① 進学指導推進校
- ② 英語教育推進校
- ③ 理数研究校



「進学指導推進校」 令和5年度～令和10年度

- ▶ 東京都から選ばれた進学校。
- ▶ 入学時から国公立大学を目指す



「英語教育推進校」としての取組

- ▶ オーストラリア短期語学研修
- ▶ GTEC全員実施（１・２年生）
- ▶ 国際理解教育の推進
- ▶ TGG（Tokyo Global Gateway）



探究活動 1 学年



▶グループによる活動

①調査方法を学ぶ 地域経済分析システム

→課題設定→調査・分析・考察

②論理的な発表の方法を学ぶ→発表

探究活動 2 学年～3 学年

- ▶ 個人探究 または 大学プログラムの参加
 - 課題設定→調査・分析・考察→発表→論文執筆



令和4年度入学生 教育課程表 (学校パンフレット参照)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
1年	現代の国語		言語文化			地理総合		歴史総合		数学Ⅰ			数学A		物理基礎		生物基礎		体育		保健		芸術Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅰ		情報Ⅰ		総合的な探究の時間		LHR	
2年	論理国語		古典探究			世界史探究 日本史探究 文系必選		公共		数学Ⅱ			数学B		数学C		化学基礎		体育		保健		芸術Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		家庭基礎		総合的な探究の時間		LHR	英語演習／数学演習
					理系必選 生物 物理																															
3年	論理国語		政治・経済		体育			英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		必修選択 古典探究(4)、地理探究(2)、 日本史探究(4)、世界史探究(4)、政治・経済(2)、 数学ⅠA演習(2)、数学ⅡBC演習(2)、数学Ⅲ(4)、 数学C(2)、物理(4)、化学(6)、生物(4)、体育(2)、 音楽総合(2)、演奏研究(2)、美術総合(2)、 生活の中の書(2)、英語演習(2)、 ファッション造形基礎(2)、情報Ⅱ(2)													自由選択 国語演習(2)、地理探究(2)、 政治・経済(2)、 数学ⅡBC演習(2)、 化学基礎演習(1)、 物理基礎演習(2)、物理(4)、 生物基礎演習(2)、生物(4)、 音楽理論(1)							総合的な探究の時間		LHR	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		

3年間の進路指導ビジョン

1 学年

基礎学力、志望分野の選択

2 学年

学部・学科選択、第1志望の決定

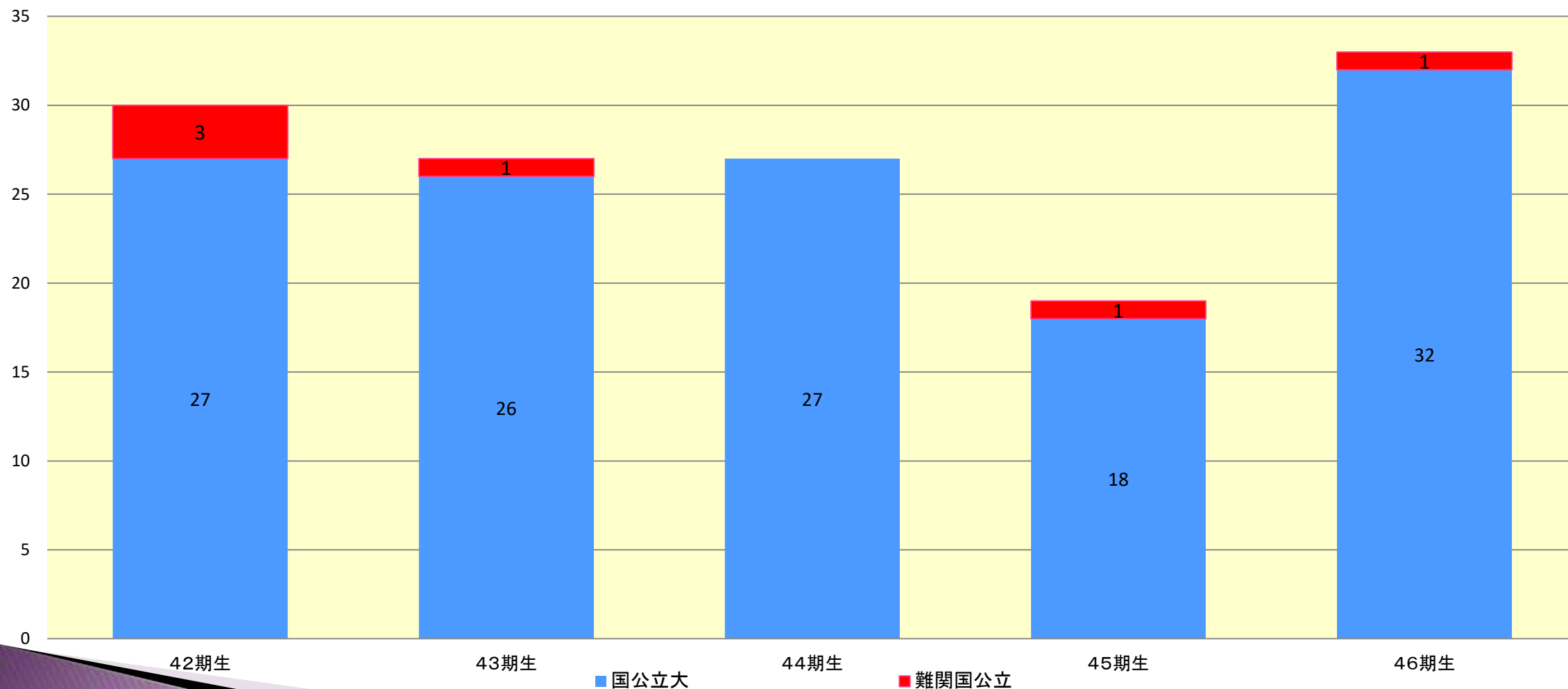
3 学年

夏に併願校調べ、冬に受験校の絞り込み

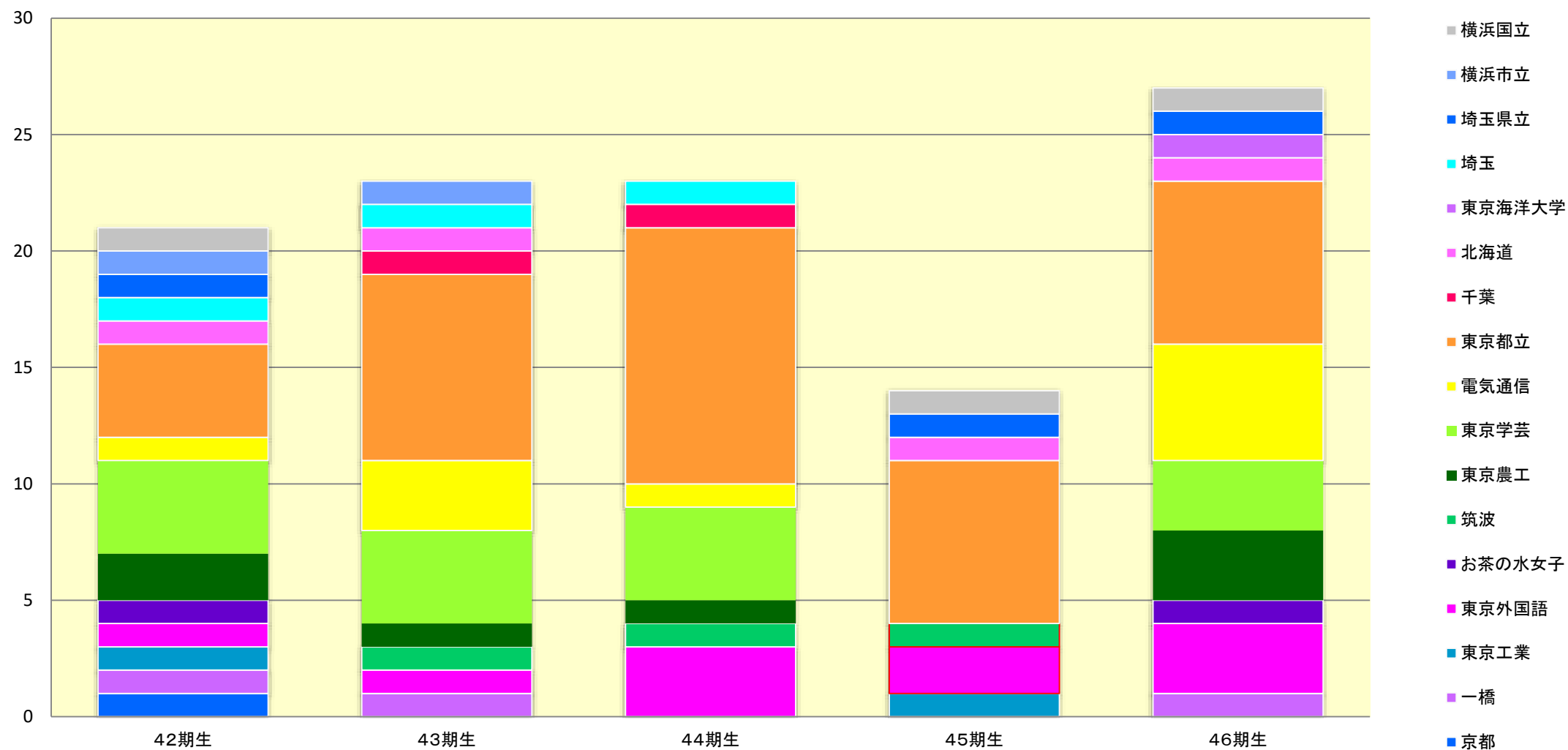
大学入試合格概況

➤➤ 令和3年度46期生の合格状況等

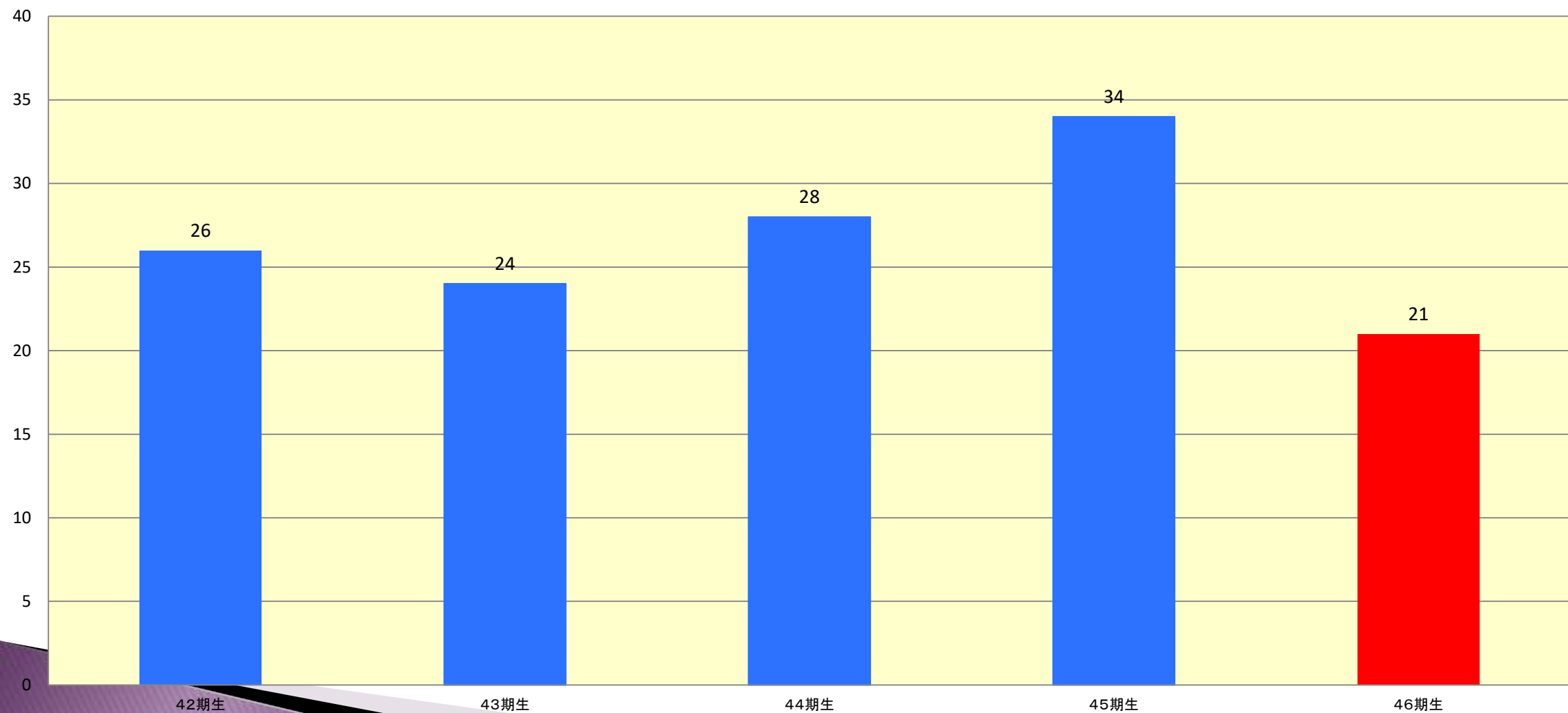
国公立大学推移（現役生）



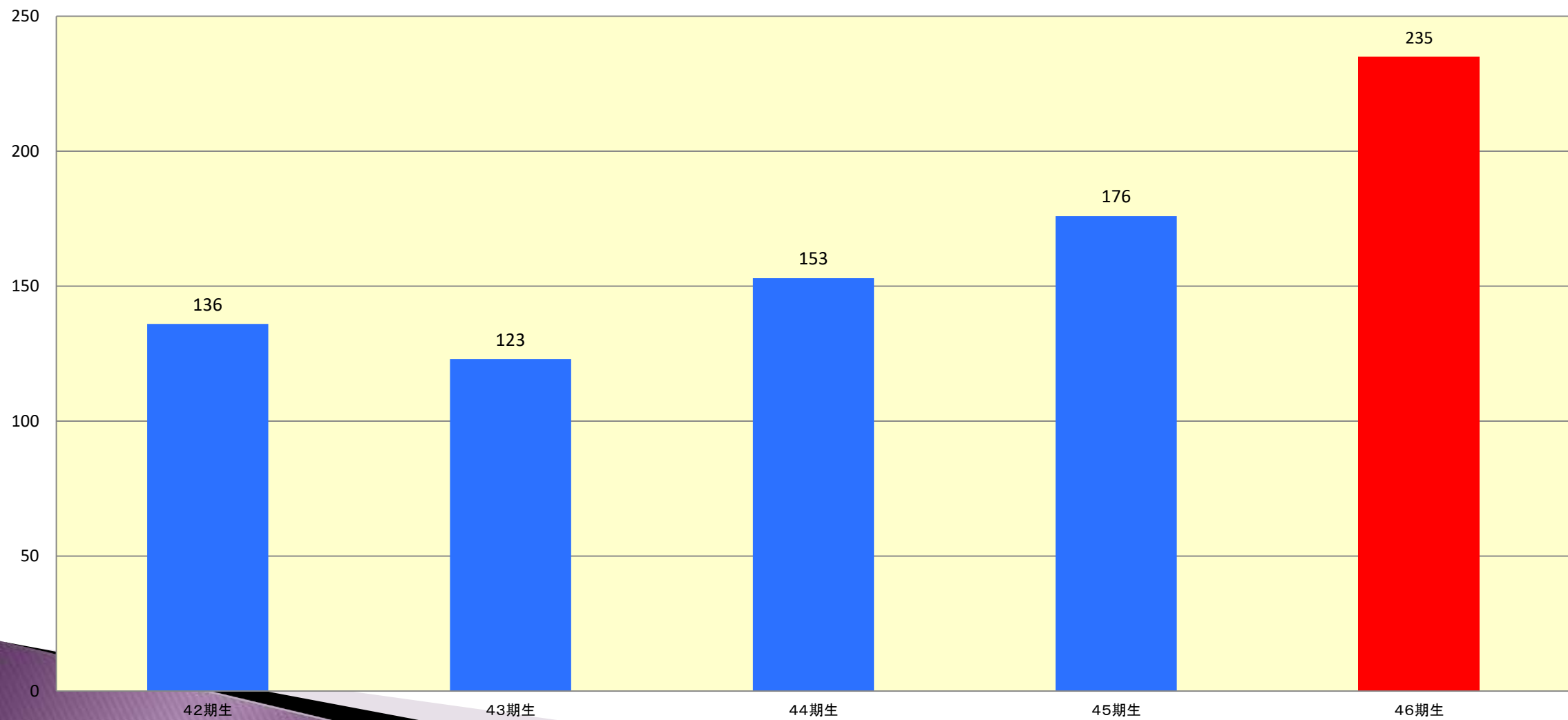
難関国公立 + 旧帝大 + 首都圏国公立



早慶上理



MARCH



令和4年度 学校説明会 入学者選抜詳細

➤➤ 昨年度の参考資料等

都立調布北高等学校
副校長 大塚 香

入学者選抜 注意事項

1. 出願はインターネットを活用して実施する。志願者が出願サイトで志願者情報を入力。出願サイト上で受験票の交付を受ける。
2. 推薦に基づく選抜は、1日で実施する。
3. 推薦に基づく選抜は、集団討論を実施しない。
4. 学力検査に基づく選抜は、中学校の臨時休業の実施状況を踏まえ、出題範囲について配慮をする。
5. 学力検査に基づく選抜では、男女緩和をする。
6. 合格者の発表は、校内の掲示に加え、Webサイトにも掲載する。
7. 入学手続きは、時差を設けて実施する。

1. 令和5年度 入学者選抜日程

	① 推薦に基づく選抜	② 学力検査に基づく選抜 (第一次募集)
願書 受付	令和5年1月12日(木)～ 1月18日(水) ※インターネットによる出願	令和4年2月1日(水)～ 2月7日(火) ※インターネットによる出願
検査日	1月26日(木) ※個人面接・小論文による選考	2月21日(火)
合格 発表	2月2日(木)	3月1日(水)

2. 令和5年度 募集人員

- ▶ 推薦は定員の20%、学力は定員の80%
- ▶ 学力は男女緩和を行う。

	男	女	合計
募集定員	1 2 3	1 1 3	2 3 6
推薦	2 4	2 2	4 6
学力	8 0	7 3	1 5 3
男女緩和	1 9	1 8	3 7

本校の期待する生徒の姿

本校は「進学指導推進校」として、将来を見すえた確かな学力を伸ばすため、組織的な進路指導・学習指導を実現し、理数教育・英語教育・国際理解教育・アクティブ・ラーニングの取組を充実させ、生徒の進路希望の実現を目指しています。また学校行事や部活動をとおして本校の生徒であることを意識させ、生徒同士がチームとなって文武両道を実践する学校を目指しています。さらに、人間とAIが共存する時代に向けて5教科全てを学ぶ意義を生徒に自覚させ、その結果として難関大学の合格者を増やしていくことを目指しています。以上のことを踏まえ、本校の期待する生徒の姿を以下に示します。

- ▶ 1 新たな時代をたくましく生きるために、自ら考え行動し、その効果を振り返り改善を図る習慣をもち続ける生徒
- ▶ 2 学業との両立を前提に、学校行事や部活動に参画し、限られた時間の中で最大限の効果を発揮し文武両道を実現する生徒
- ▶ 3 文理を問わず、様々な分野に知的探究心をもち、将来科学技術等の分野で活躍できる生徒
- ▶ 4 失敗を恥じることなく前向きに挑み続け、将来にわたって自ら学ぶ意欲を持続発展していく生徒

※特に推薦選抜においては、上記1から4の全てに該当する生徒が望ましい。

3. 令和5年度 推薦に基づく選抜

▶調査書（500点）

- ・9教科の評定合計を500点に換算
（例）評定合計42点の場合・・・ $42 \times 500 / 45 = 466.66$

▶個人面接（200点）

▶小論文（300点）

〈参考 昨年の作文問題 次スライド〉

1000点
満点

〈参考〉令和4年度 小論文 問題

- ▶ 茂木健一郎『考える力をつくるノート（強く生きるヒント9）』／
オードリー・タン『自由への手紙』より出題

▶ 設問

問一 傍線部①「最初のペンギン」と傍線部②「不確実な状況」とありますが、あなたは「不確実な状況」を前にした「最初のペンギン」になるためには、どのようなことが必要だと考えますか。本文の趣旨を踏まえて、240字以上300字以内で考えを述べなさい。なお、考えを述べるためには、次の3点を踏まえること。

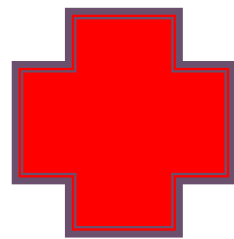
問二 傍線部「より多様性のある文化を実現する」ために、あなたは具体的にどのような行動が必要だと考えますか。本文の趣旨を踏まえながら、320字以上400字以内で述べなさい。なお、考えを述べるためには、次の3点を踏まえること。

【条件】①自分の考えの根拠として、自分の見聞や体験を述べること。

②原稿用紙の書き方すること。③段落構成についての指示。

令和5年度 小論文 問題イメージ

文章



グラフ・図表

読解力・思考力・表現力

推薦に基づく選抜 倍率

▶ 募集人員（男子24名 女子22名）に対する倍率

年度	男子 応募人数	男子 倍率	女子 応募人数	女子 倍率
H31	41	1.71	44	2.00
R2	39	1.63	57	2.59
R3	52	2.17	65	2.95
R4	47名	1.96倍	67名	3.05倍

〈参考〉推薦に基づく選抜 内申

▶ 応募者全体の素内申の平均

年度	男子	女子	全体
H31	36.7	39.4	38.1
R2	36.4	39.4	38.2
R3	37.2	39.3	38.4
R4	36.8	39.3	38.3

4. 令和5年度 学力検査に基づく選抜

▶ 学力検査 700点

- ・ 5教科（国語・数学・英語・社会・理科）

⇒500点満点を700点に換算

▶ 調査書 300点

- ・ 学力検査を実施する5教科 1倍
- ・ 学力検査を実施しない4教科 2倍

⇒65点満点を300点に換算

1020点
満点

+

ESAT-J（英語スピーキングテスト）20点

学力検査に基づく選抜 倍率

▶ 学力検査に基づく選択の倍率 () 募集人数

年度	男子 応募人数	男子 倍率	女子 応募人数	女子 倍率
H31	152 (99)	1.54	148 (91)	1.63
R2	147 (98)	1.50	164 (92)	1.78
R3	155 (99)	1.57	158 (91)	1.74
R4	173名(99)	1.75倍	153名(91)	1.68倍

〈参考〉学力検査に基づく選抜 内申

▶ 応募者全体の素内申の平均

年度	男子	女子	全体
H31	33.6	37.1	35.4
R2	34.3	36.8	35.7
R3	34.0	37.6	35.9
R4	34.0	37.5	35.7

〈参考〉学力検査に基づく選抜 得点

▶ 応募者全体の得点平均

男子	国語	数学	英語	社会	理科	計
H31	79.2	76.5	77.9	70.2	84.5	388.2
R2	86.1	83.6	74.8	77.9	72.8	395.2
R3	80.1	70.9	75.1	74.3	67.2	367.7
R4	77.8	78.8	82.3	69.5	83.2	391.6
女子	国語	数学	英語	社会	理科	計
H31	82.4	74.0	77.7	68.0	81.2	383.4
R2	90.6	80.1	77.6	70.7	70.2	389.2
R3	83.8	67.5	77.6	71.7	65.4	365.9
R4	78.0	77.1	84.5	63.3	77.3	380.2

令和4年度入学生から、 生徒一人1台端末を活用した新たな学びが始まりました！！

都立学校では、全校に無線LANを整備し、教育活動のあらゆる場面において、生徒所有の一人1台端末を活用することにより、一人ひとりの力を最大限に伸ばしていきます。

デジタルを活用した教育

生徒の学びを変革し、主体的・対話的に学ぶ新しい教育を提供していきます。
また、いつでもどこでも学習ができる、学びを止めない環境を提供します。

< 端末を活用した学習等の実践例 >

八丈島でのフィールドワーク（立川高等学校）



ノートのように端末へ書き込むこと（小平南高等学校）



デジタル教材への取組み（雪谷高等学校）



高校段階の学習にふさわしい端末整備の考え方

- ・ 進路実現に向けた資格取得など、学校内外で自在に活用できる端末
- ・ 授業における学びやすさ・教えやすさの点から学校単位で同一の仕様の端末

端末の導入について

- ・ 令和5年度入学生の皆さんには、**原則全員購入**していただきます。
- ・ 端末は**自宅においても自由に活用いただくことが可能**です。
卒業後もそのまま活用可能です。
- ・ 自宅でのWi-Fiなどの安定した**通信環境の確保**をお願いします。

【参考】令和4年度の端末購入補助実績

【高等学校・中等教育学校】

- ・ **保護者負担定額補助** 保護者の負担額が定額（3万円）となるように支援
（対象：全世帯）
- ・ **多子世帯補助** 保護者の負担額（3万円）の2分の1を支援（※年収制限なし）
（対象：令和4年4月1日現在、扶養する23歳未満の子等が3人以上いる世帯）
- ・ **給付型奨学金（端末購入補助）** 保護者負担が生じないように支援
（対象：給付型奨学金対象世帯）

【特別支援学校】

- ・ **就学奨励事業** 保護者負担が生じないように支援

【参考】令和4年度の端末の購入方法

【高等学校・中等教育学校】 保護者・生徒が専用サイトで購入

【特別支援学校】 学校で取りまとめて購入

今後の予定

端末購入の仕組みや購入費用の保護者支援策については、情報教育ポータルサイトや都立高等学校等合同説明会等でお知らせしていきます。